

----- 源頼朝・弘法大師伝説コース

源頼朝が伊豆を追われ辿り着いた南房総。各地域に頼朝が辿った痕跡があり、神余地区にも、中間家・大井戸・手負いの家臣を手厚く弔った金明社などがあります。同じく弘法伝説もあり、塩井戸・来迎寺・大師講跡などもあり、そんな伝説を辿るコースです。

----- 八犬伝伝説コース

奈良時代にいた神余の豪族、金丸家に伝わる神余家累代艦に残る26代金丸景貞から始まる記録は、まさに滝沢馬琴の書いた長編小説「南総里見八犬伝」のストーリーそのもの。創作ではなく史実として残る、金丸城・山下城・自性院などを巡るコースです。

白浜尾根・谷津コース(周遊約4km)

古くから、多くの人々が利用した館山と白浜を結んできたコースです。尾根伝いのコースと谷津伝いのコースになります。コースの先にあるカフェなどで休憩して戻ってもよし。そのまま白浜里見古道などを伝って白浜灯台に抜けるもよし。歴史と自然を感じて下さい。

神余地区ハイキングコースガイド&周辺マップ



尾根コース(約4km)

かつて舞で有名な日吉神社の背後に連なる尾根伝いのアップダウンの少ない家族連れにも向いているコースです。マテバシイなど様々な植生、木々の間からこぼれる日差し、吹き抜ける風をお楽しみください。分岐点から林道コースに回るとさらに変化を楽しめます。

林道コース(約6km)

神余地区の特徴でもある里山と棚田を巡るコースです。神余地区最高峰の京塚山や浅間神社。古道と一体になった林道は落葉を踏み締めながらの山道です。里には、棚田が広がり、四季折々の景色を見る事が出来ます。特に五月、スタジイの新緑で山全体が黄金色に輝きます。

大倉北・南コース(周遊約2.5km)

林道コースと静かな谷津が広がる大倉地区をつなぐルートです。竹林から谷津につながる大倉北コースと尾根伝いと林間を楽しめる大倉南コースがあります。両コースを回っても、約2.5km。変化にとんだ自然を楽しめます。ビューポイントからは海を見ることができます。

加藤北コース

大倉南コースから途中分岐し、加藤地区に抜けるコース。大倉南コースからふれあい神余の里にショートカットできます。

加藤南コース

尾根コースから加藤地区に抜けるコース。尾根コースからここを通り、ふれあい神余の里に戻ると2km程度のコースとなるお手軽コースです。

ホテルの里コース

尾根コースの加藤林道入り口から分岐し、大倉南コースに接続するコース。夏にはホテルを見ることが出来る小川の脇を進み、途中から林間コースとなります。